



2025年2月6日
スズキ株式会社

(ご参考) 表紙画像：新型「ジムニー ノマド」発表会の様子

当社は2025年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたしました。
そのため、本ページ以降は前期・当期ともにIFRSに基づき作成しております。

2025年3月期 第3四半期決算

- ・ 為替影響や販売台数の増加により増収増益
- ・ 特に国内四輪事業の価格改定やモデルミックス改善が貢献
- ・ 固定費の増加や仕入先基盤強化の取り組みによる影響を増収効果や原価低減等でカバー

2025年3月期 通期業績予想

- ・ 第3四半期実績および経営環境の変化を反映し、前回予想から上方修正
- ・ 売上収益 5兆7,000億円、営業利益5,900億円を見込む
- ・ 成長戦略実現に向けた研究開発費や固定費等の増加をカバーできるよう引き続き、稼ぐ力を上げていく

2025年3月期 第3四半期決算のサマリーをご説明いたします。

当第3四半期につきましては、為替影響や販売台数の増加により増収増益となりました。

特に国内四輪事業において、

価格改定やモデルミックスの改善が増益に貢献しました。

また固定費の増加や仕入先基盤強化の取り組みによる影響を増収効果や原価低減等でカバーし、増益となりました。

通期業績予想につきましては、

第3四半期実績および経営環境の変化を反映し、前回予想から上方修正しました。

売上収益は5兆7,000億円、

営業利益は前回予想から400億円の上方修正となる5,900億円を見込みます。

成長投資のための研究開発費や固定費等の増加をカバーできるよう

稼ぐ力を上げていきます。

サマリー 2

2025年3月期 第3四半期決算 4～12

 総括 4

 営業利益増減要因 5

 事業別業績、営業利益増減要因 6

 四輪・二輪台数実績 7～12

通期業績予想 13～17

 総括 13

 営業利益増減要因 14～15

 四輪・二輪台数情報 16～17

補足資料 18～27

(億円)		当第3四半期 ('24/4-12)	前年同期 ('23/4-12)	増 減		補足※1
					増減率	
連結 業績	売上収益	42,837	38,341	+ 4,496	+ 11.7%	4期連続増収
	営業利益 (利益率)	4,797 (11.2%)	3,712 (9.7%)	+ 1,085	+ 29.2%	4期連続増益
	税引前利益 (利益率)	5,480 (12.8%)	4,351 (11.3%)	+ 1,129	+ 25.9%	4期連続増益
	四半期利益※2 (利益率)	3,117 (7.3%)	2,371 (6.2%)	+ 746	+ 31.5%	4期連続増益
為替 レート	米ドル	153円	143円	+ 9円	+ 6.5%	
	ユーロ	165円	155円	+ 10円	+ 6.2%	
	インドルピー	1.83円	1.74円	+ 0.09円	+ 5.2%	
世界 販売	四輪車	2,363千台	2,283千台	+ 80千台	+ 3.5%	日本、パキスタン、中近東等で増加
	二輪車	1,548千台	1,445千台	+ 103千台	+ 7.1%	インド、中南米、欧州等で増加

※1 補足のコメントは第3四半期累計としての評価
※2 四半期利益は親会社の所有者に帰属する四半期利益

はじめに、今回の決算の実績をご説明いたします。

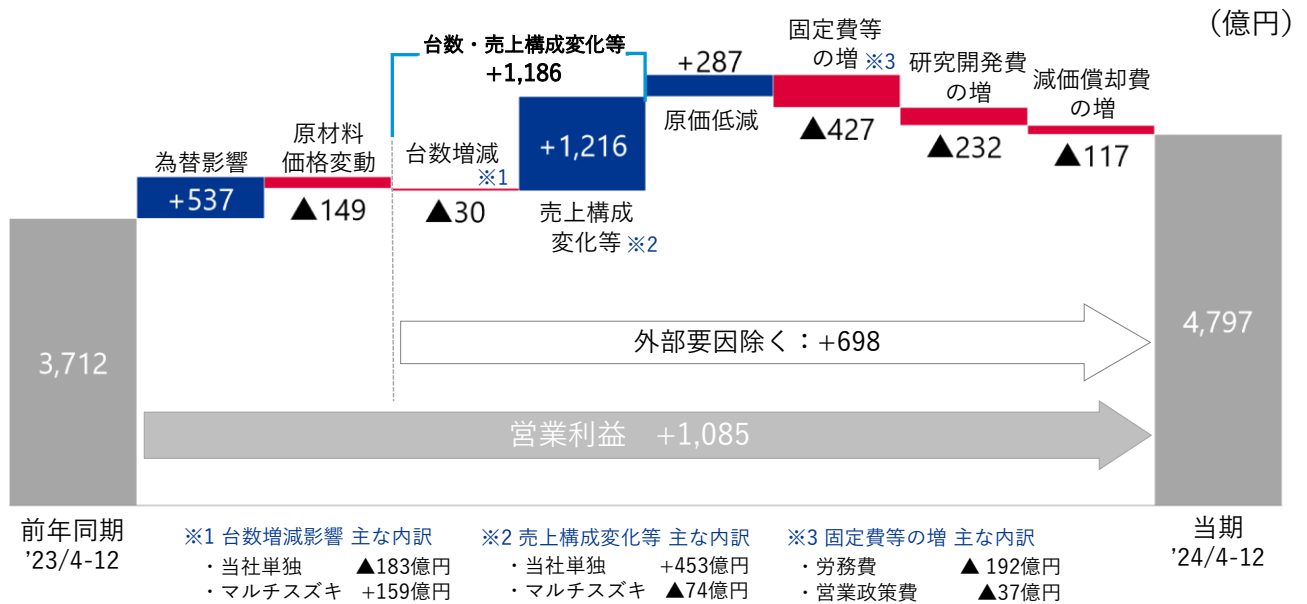
売上収益は販売台数が増加したこと等により
4兆2,837億円と 前年同期に比べ4,496億円増加しました。

営業利益は売上構成変化の改善や為替円安効果等により
4,797億円と 前年同期に比べ1,085億円増加しました。

税引前利益は5,480億円と 前年同期に比べ1,129億円増加、
四半期利益は3,117億円と 前年同期に比べ746億円増加しました。

為替レートは米ドル153円、ユーロ165円、インドルピー1.83円でした。

四輪車の販売は、日本、パキスタン、中近東等で増加し
世界販売合計では8万台増加しました。
二輪車の販売は、インド、中南米、欧州等で増加し
世界販売合計では10万3千台増加しました。



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

5 / 17

前年同期と比較した営業利益の増減要因は、ご覧の通りです。

外部要因としては、

- ・為替影響で 537億円の増益、
- ・原材料価格変動については、
主に仕入先基盤強化の取組の影響により 149億円の減益
となりました。

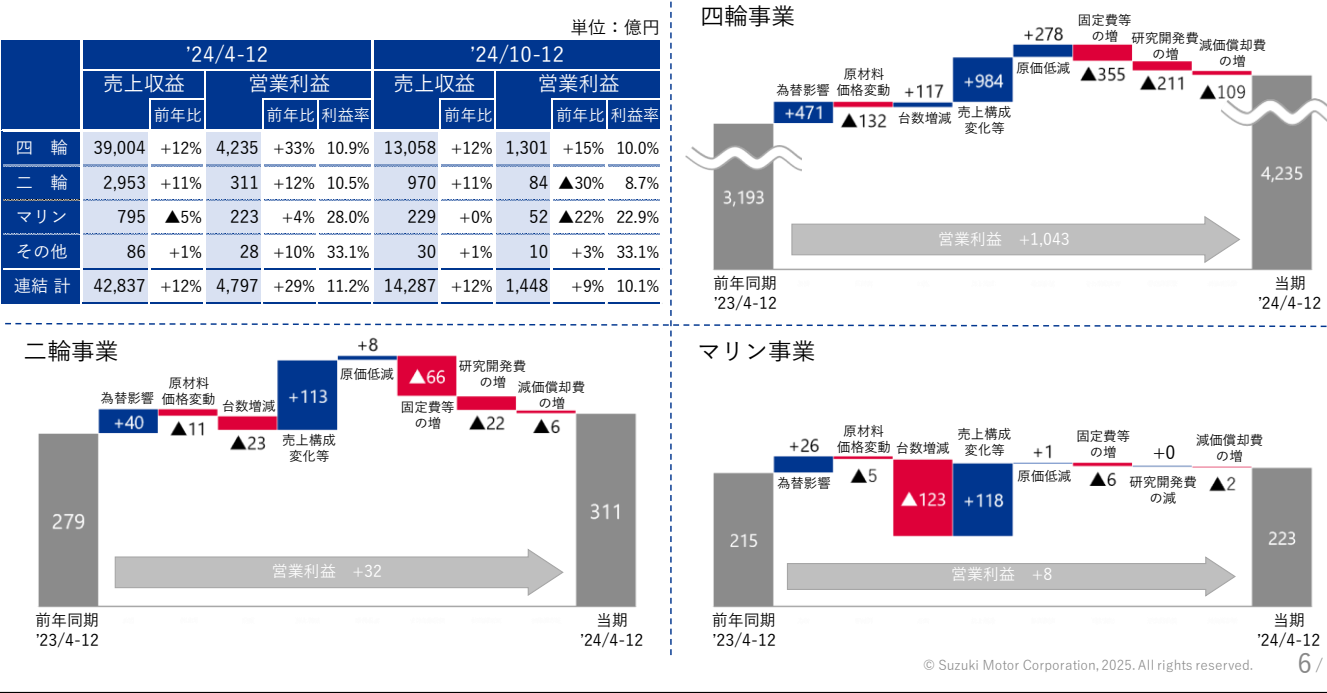
外部要因を除く項目では、

増益要因として、

- ・国内四輪車の価格改定等により、売上構成変化等で 1,216億円
- ・原価低減により 287億円
の増益となりました。

減益要因としては、

- ・成長投資や人的資本投資の拡大として、
 - ・主に労務費の増加により、固定費等の増で 427億円
 - ・研究開発費の増加により 232億円
 - ・減価償却費の増加により 117億円
- ・当社単独での船外機の出荷調整等により、台数減で30億円の減益となりました。

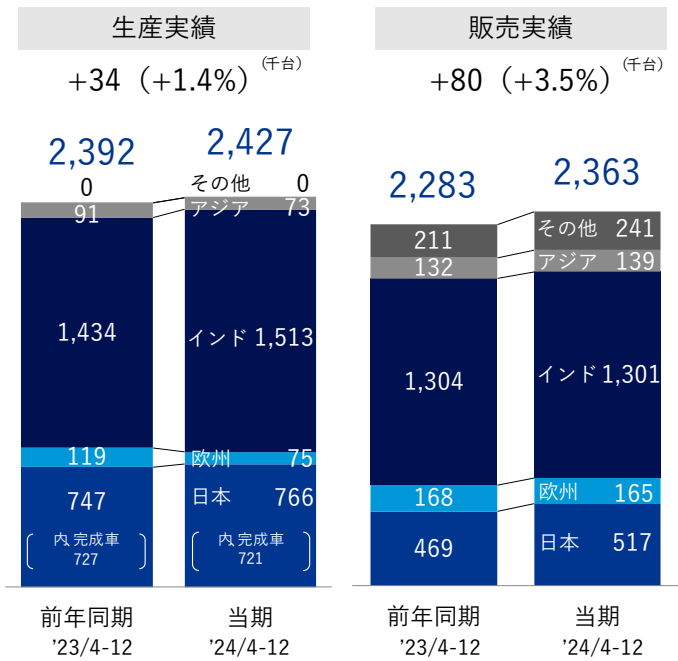


次に事業別の業績についてご説明いたします。

四輪事業につきましては
台数増加や売上構成変化等の改善により、増収増益となりました。

二輪事業につきましては
為替影響や売上構成変化等の改善により、増収増益となりました。
主にインドでの販売拡大が増収増益に寄与しました。

マリン事業につきましては
売上収益が減少したものの、営業利益は前年同期と比べて8億円増加しまし
た。
なお台数増減および売上構成変化等につきまして、
北米販売子会社の在庫削減に伴い
本社出荷台数の減少により台数増減項目は減益要因となりましたが、
現地側の在庫削減により、売上構成変化等項目は増益要因となりました。



● 当期の世界販売

	台数	前年同期比	
世界販売	2,363	+80	+3.5%
日本	517	+47	+10.1%
欧州	165	▲2	▲1.4%
インド	1,301	▲3	▲0.2%
アジア (除インド)	139	+7	+5.6%
パキスタン	51	+21	+72.2%
インドネシア	51	▲9	▲15.1%
フィリピン	16	+2	+14.3%
その他	241	+31	+14.5%
中南米	92	+10	+11.7%
アフリカ	78	+6	+8.3%
中近東	49	+13	+34.8%
大洋州	21	+2	+11.7%

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

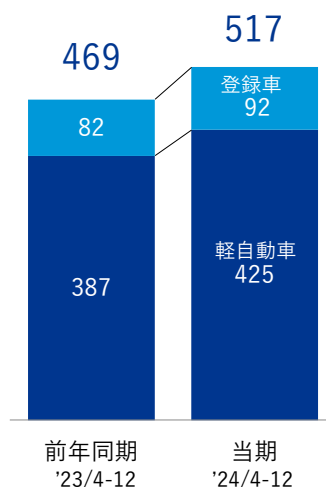
次に、生産・販売の状況についてご説明いたします。

四輪車につきまして
日本、パキスタン、中近東等にて販売台数が増加し
生産・販売ともに前年同期を上回りました。

中近東・アフリカ・中南米では、
インドからの輸出モデルが台数を伸ばしました。
インドからの輸出については
昨年11月に累計輸出300万台を達成しました。
この300万台達成は200万台達成からわずか3年9か月で、
これまでで最速の100万台輸出となりました。

販売実績

+47 (+10.1%) (千台)

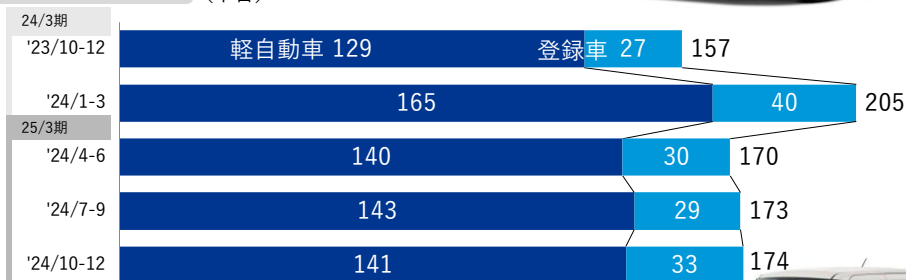


● 国内販売の状況

- ・ 2024年暦年の軽自動車販売台数 1 位(占拠率37.9%)
- ・ 2024年暦年の登録車販売台数は132千台(過去最高)
- ・ 新型フロンクスの販売が好調



国内販売台数推移 (千台)



● ワゴンR スマイル 一部仕様変更して発売

- ・ 2024年12月10日より発売
- ・ 順調な滑り出し



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

8 / 17

次に日本の四輪販売実績についてご説明いたします。

安定した生産と販売により

2024年暦年の軽自動車販売台数では、おかげさまで1位を獲得することができました。

登録車販売においても暦年で前年より10.9%増加し、過去最高の13万2千台となりました。

また新型フロンクスは、月間目標販売台数の1,000台に対し第3四半期において5,267台と

好調な販売を継続しています。

フロンクスは日本カー・オブ・ザ・イヤーの「10ベストカー」に選出され、最終選考では総合4位入賞となりました。

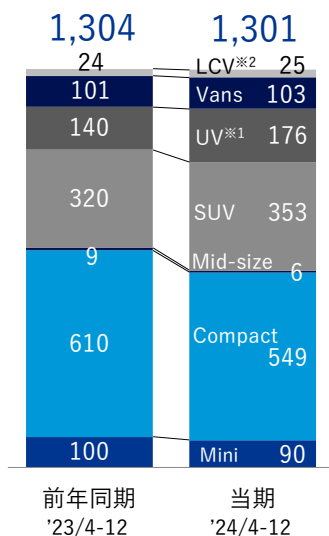
そしてトピックスとしまして、昨年12月10日よりワゴンRスマイルを一部仕様変更して発売いたしました。

「ナチュラルユニーク」をコンセプトとした、より優しくかわいらしいデザインとしました。

ご好評をいただき、順調な滑り出しとなっております。

販売実績

▲3 (▲0.2%) (千台)



● 販売状況

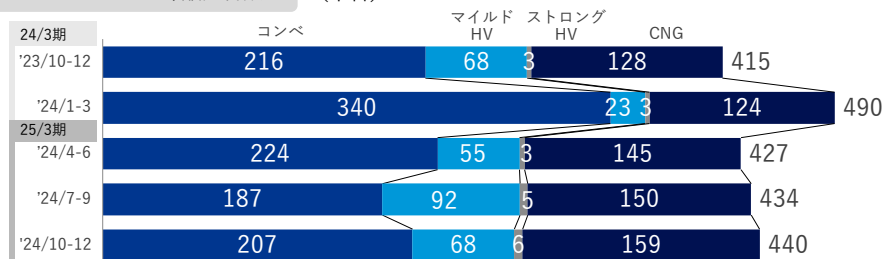
- ・ 12月単月の末端販売は過去最高の253千台(占拠率50.2%)
- ・ 2024年暦年の累計末端販売は過去最高の1,788千台(前年比+3.6%)
- ・ 暦年累計卸販売も過去最高の1,791千台(前年比+2.8%)
- ・ 農村部の需要も好調

● 新型「ディザイア」を発売

- ・ 11月11日、新型「ディザイア」を発売
- ・ 主力モデルの一つであるコンパクトセダン



パワートレイン別卸販売台数 (千台)



注、商用車(LCV)を含む卸販売実績、OEMは除く
※1 UV=Utility Vehicles (Ertiga等) ※2 LCV=Light Commercial Vehicles

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

9 / 17

インドの四輪販売につきましては

12月単月の末端販売において過去最高の25万3千台となり、50%を超えるシェアを獲得しました。

また暦年の累計卸販売についても、過去最高の179万1千台となりました。

生産においても、2024年暦年で200万台を達成し

スズキの生産国として初の年間生産台数200万台突破となりました。

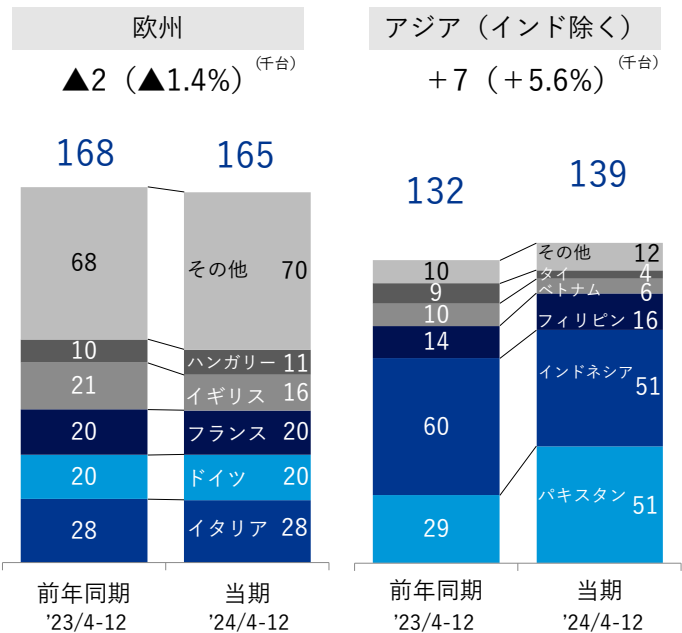
良好なモンスーンや政府による最低支持価格などの影響により、農村部の需要も好調です。

そして、11月11日より新型ディザイアを発売しました。

先進的でスタイリッシュなコンパクトセダンであるディザイアは、インドでの主力モデルの一つとなっております。

販売は好調で約2万台の受注を承っております。

また上位グレードの比率が旧型と比べて倍以上となっており、収益改善に貢献しています。



● トピックス

◆ 欧州

・ スイフトの販売が引き続き堅調

◆ パキスタン

・ 豊作により個人需要が引き続き堅調
・ アルト、スイフトの販売が堅調



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

10 / 17

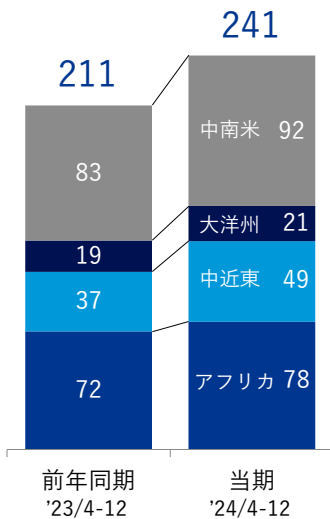
続いて欧州とアジアの販売状況です。

欧州では第2四半期に引き続きスイフトの販売が堅調です。
全体では、イグニスとジムニーの販売終了があり、前年同期比で2千台の減少となりました。

パキスタンでは豊作により個人需要が第2四半期に引き続き堅調であり、前年同期と比べて販売台数が増加しました。
特にアルトやスイフトの販売が堅調です。

販売実績

+ 31 (+14.5%) (千台)



トピックス

- ・ 中近東、中南米、南アフリカともに好調を維持
- ・ 南アフリカはシェア11.7%(2024年4～12月累計)
- ・ ジムニー5ドア等のインド製モデルが販売を牽引

当期の販売

	台数	前年同期比 (千台)	
アフリカ	78	+6	+8.3%
南アフリカ	45	+8	+21.1%
中近東	49	+13	+34.8%
サウジアラビア	28	+7	+31.8%
大洋州	21	+2	+11.7%
中南米	92	+10	+11.7%
メキシコ	33	+5	+18.5%
チリ	16	+2	+15.9%

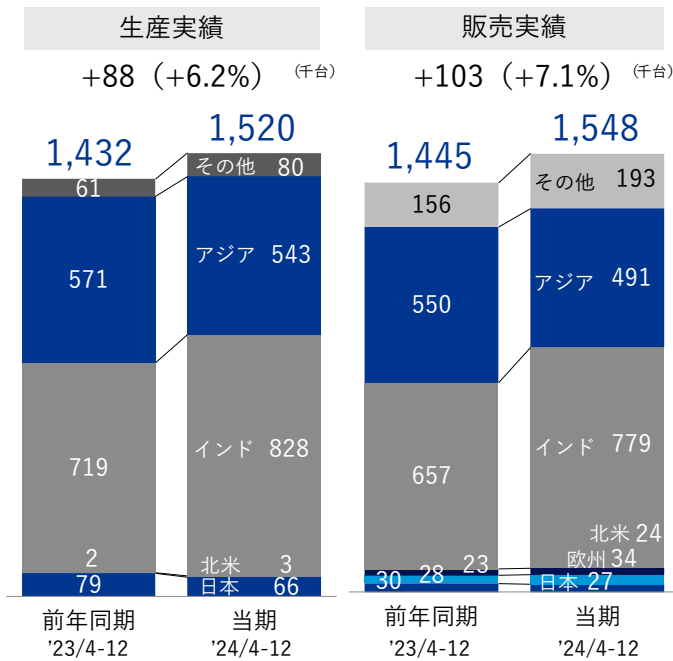
© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

その他地域の販売につきましても
各地域とも好調を維持しました。
中近東、中南米、南アフリカでは、
ジムニー5ドアやグランドビターラ等、インド製モデルが販売を牽引しました。
商流上、これらのモデルは本社を経由する三国間貿易にて輸出しており、
本社収益の改善にも貢献しています。

(ご参考)

南アフリカでのシェア

2020年度 4.8%
2021年度 6.4%
2022年度 9.4%
2023年度 10.0%
2024年度 (4-12月) 11.7%



● インドにて3車種を発表

1月17日から22日まで、インド・ニューデリーで開催された「Bharat Mobility Global Expo 2025」において3車種を発表

- ・「e-ACCESS」BEVの世界戦略車第一弾
- ・新型「ACCESS」
- ・「GIXXER SF 250」バイオエタノール混合燃料対応車



© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved. 12 / 17

次に二輪事業についてご説明いたします。

インドでは主力モデルのACCESSを中心にスクーター販売が堅調で全体市場以上の伸長率となりました。
二輪全体につきましても、生産・販売ともに前年を上回りました。

1月17日から22日までインドのニューデリーで開催された「Bharat Mobility Global Expo 2025」において新モデルを3車種発表いたしました。
スズキ二輪車として初のバッテリーEV世界戦略車である「e-ACCESS」と、「ACCESS」の新モデル、そしてバイオエタノール混合燃料に対応した「GIXXER SF 250」の3車種を発表いたしました。

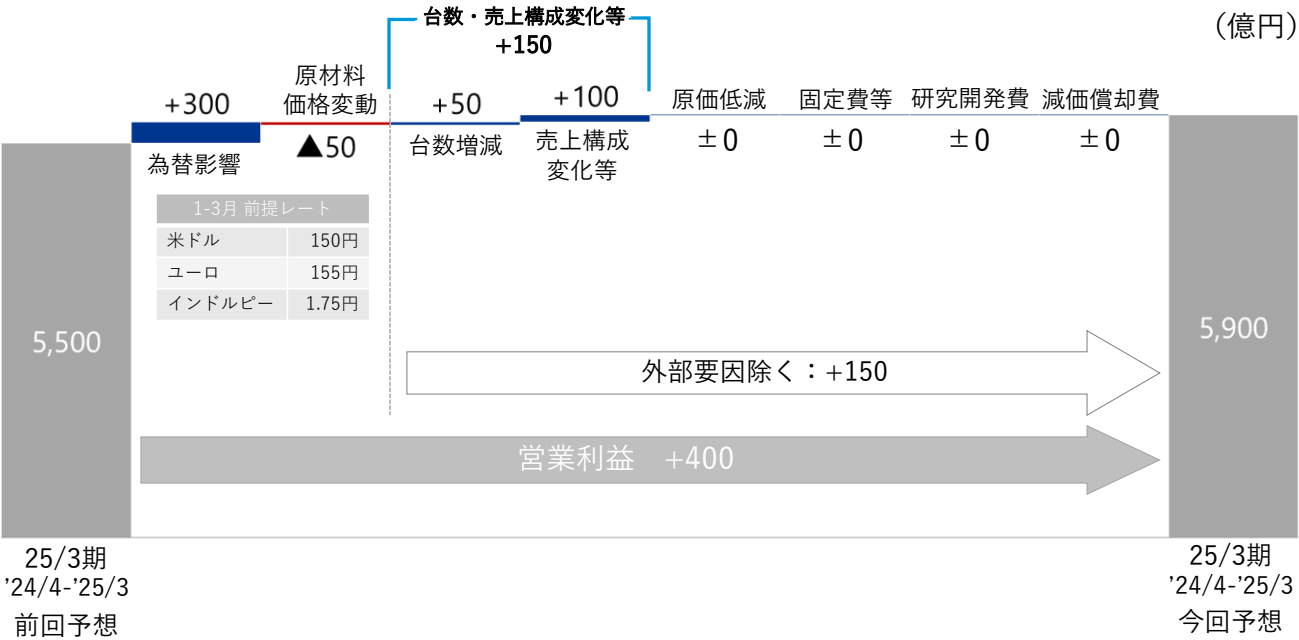
(億円)		当期 ('24/4-'25/3)	前期実績 ('23/4-'24/3)	増 減		補足	前回予想との比較	
					増減率		前回予想	増減
連結 業績	売上収益	57,000	53,575	+ 3,425	+ 6.4%	4期連続増収	56,000	+ 1,000
	営業利益 (利益率)	5,900 (10.4%)	4,938 (9.2%)	+ 962	+ 19.5%	3期連続増益	5,500 (9.8%)	+ 400
	税引前利益 (利益率)	6,600 (11.6%)	5,917 (11.0%)	+ 683	+ 11.5%	5期連続増益	6,200 (11.1%)	+ 400
	当期利益 ^{※1} (利益率)	3,700 (6.5%)	3,170 (5.9%)	+ 530	+ 16.7%	5期連続増益	3,500 (6.3%)	+ 200
為替 レート	米ドル	152円	145円	+ 7円	+5.1%		146円	+ 6円
	ユーロ	162円	157円	+ 6円	+3.6%		160円	+ 2円
	インドルピー	1.81円	1.76円	+ 0.05円	+2.8%		1.76円	+ 0.05円
世界 販売	四輪車	3,244千台	3,168千台	+ 76千台	+ 2.4%		3,244千台	▲0千台
	二輪車	2,035千台	1,912千台	+ 123千台	+ 6.4%		2,008千台	+ 27千台

※1 当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益

通期業績予想についてご説明いたします。

第3四半期までの実績 および 経営環境の変化を踏まえ、業績予想を上方修正いたします。

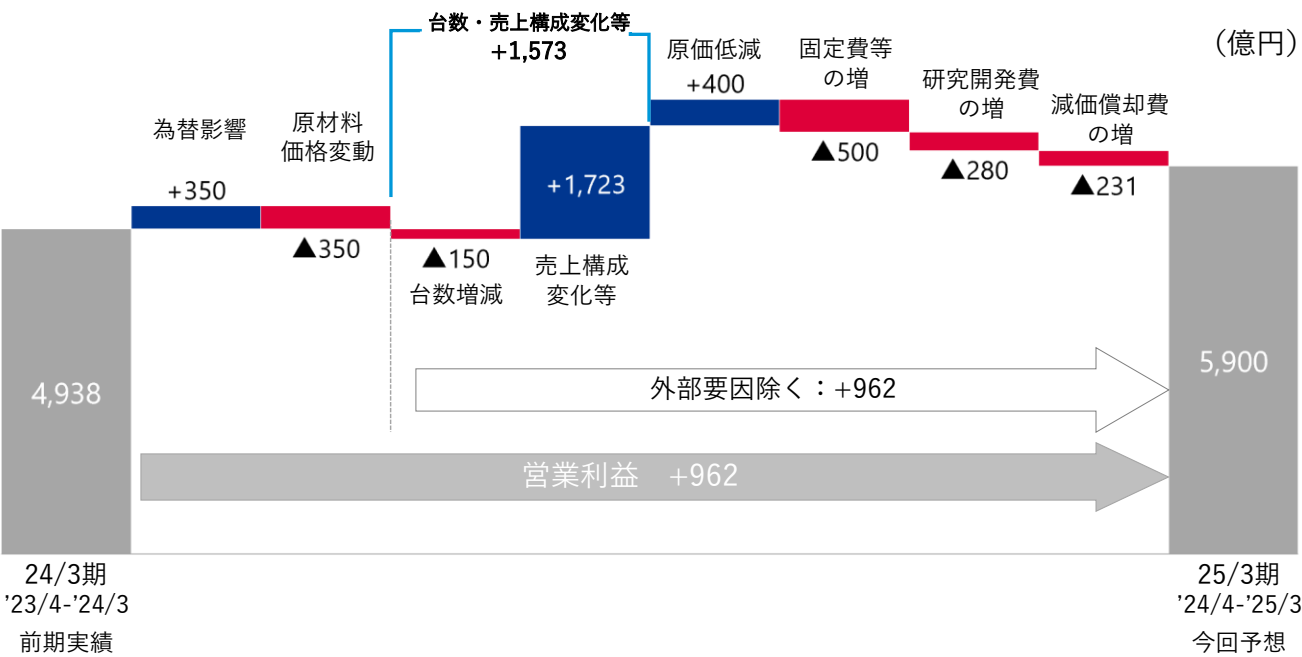
売上収益は1,000億円上方修正し5兆7,000億円、
営業利益は400億円上方修正し5,900億円を見込んでいます。



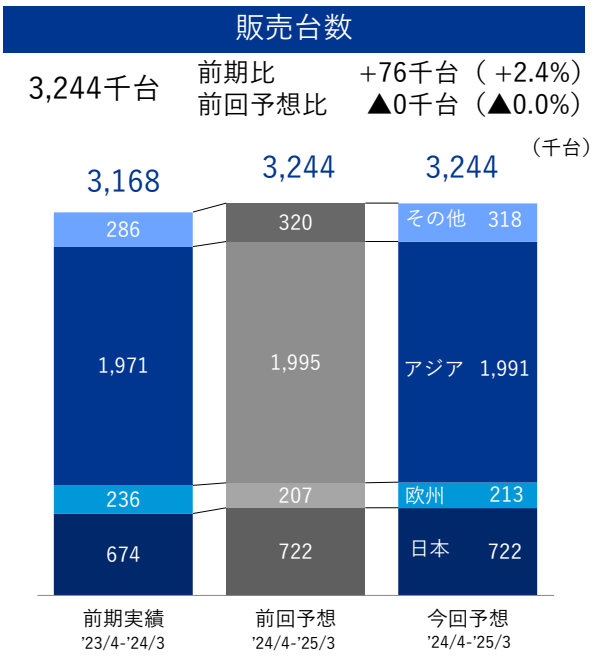
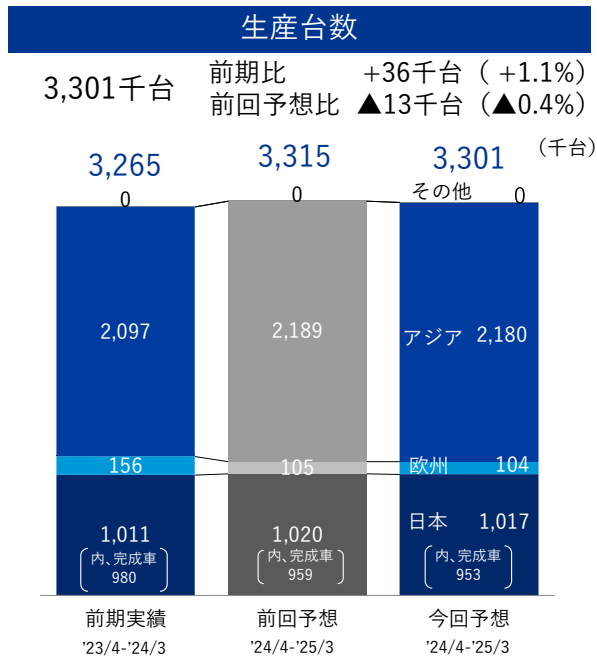
営業利益につきまして
前回予想に対し400億円上方修正した内訳はご覧の通りとなります。

外部要因として、
為替影響は、第3四半期の実績および足元の状況を踏まえて300億円の上方修正としました。
原材料価格変動による影響は、50億円の下方修正としました。
これは仕入先基盤強化によるものです。

外部要因を除く部分については、
台数影響は、四輪販売台数の見通しを反映して50億円の上方修正
売上構成変化等は、マルチ・スズキや国内代理店の改善等の影響を反映して100億円の上方修正としました。



前期に対する 営業利益の増減要因の内訳はご覧の通りとなります。



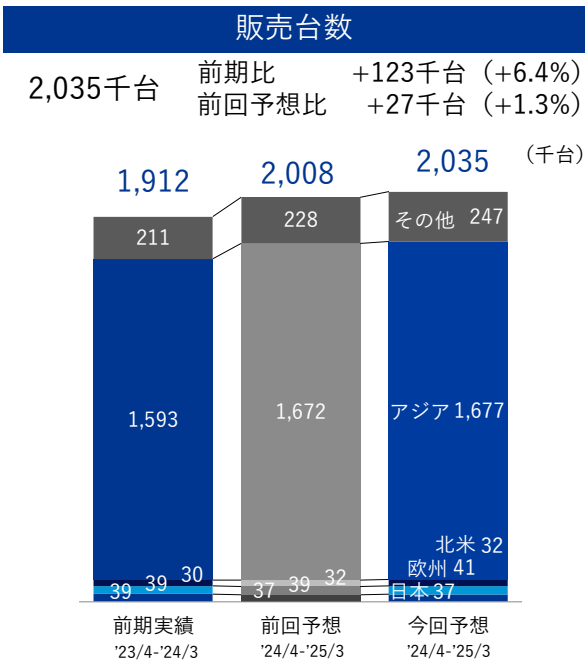
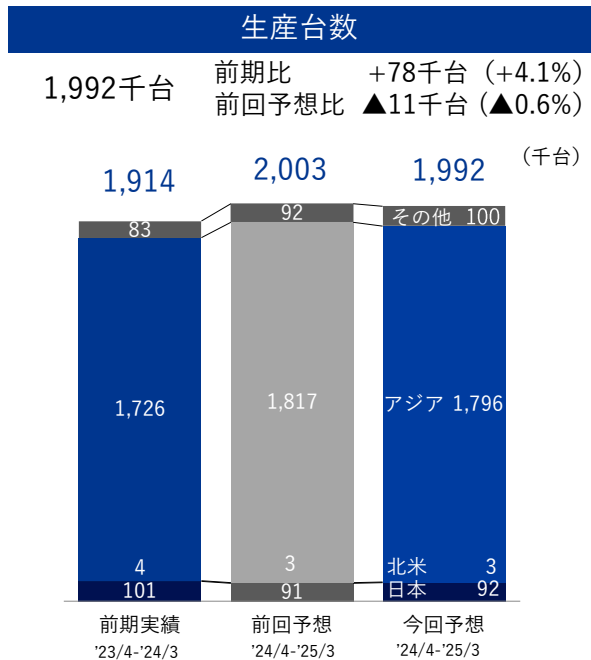
© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

最後に台数の見直しについてご説明いたします。

四輪車の生産台数につきましては前回予想から1万3千台下方修正しました。

販売台数につきましては
欧州にて上方修正しましたがアセアンにて下方修正し、
世界販売合計では前回予想並みとしました。

なおインドの通期販売見通しは、前回予想を据え置きとしました。



二輪車につきまして
生産台数は中国での減産を反映し、1万1千台下方修正しました。

販売台数につきましては
インドでの好調な販売を反映し、2万7千台上方修正しました。

以上で第3四半期決算の説明を終わります。

また、資料の次ページ以降に補足資料として売上高の内訳等のデータを掲載
していますので併せてご覧ください。

なお、新中期経営計画を2月20日に発表させていただく予定です。

ご清聴ありがとうございました。

補足資料

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

2025年3月期 第3四半期決算 | 売上収益の状況



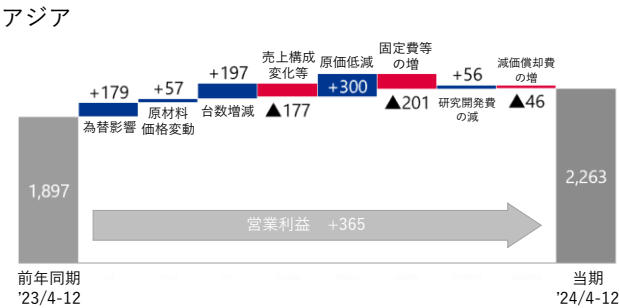
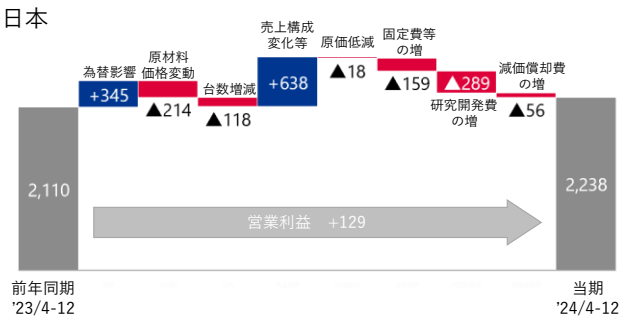
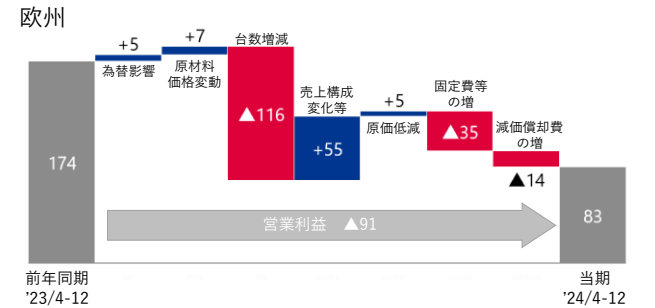
(億円)	四輪			二輪			マリン			その他			合 計			増減内訳 為替影響 台数増減
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	10,566	8,902	+1,664	139	152	▲13	25	26	▲1	86	85	+1	10,815	9,165	+1,651	+628
自 社	9,719	8,151	+1,568	139	152	▲13	25	26	▲1	86	85	+1	9,969	8,414	+1,555	
O E M	847	751	+95										847	751	+95	
海外計	28,438	25,855	+2,582	2,814	2,508	+305	770	813	▲42				32,022	29,176	+2,846	+1,602 +406
欧 州	4,325	4,474	▲149	336	328	+8	128	129	▲2				4,788	4,931	▲143	+301 ▲535
北 米	3	4	▲1	293	343	▲50	394	425	▲31				690	773	▲82	+41 ▲58
アジア	19,285	17,310	+1,975	1,597	1,347	+250	91	106	▲16				20,973	18,764	+2,209	+1,017 +637
インド	16,899	15,244	+1,655	1,075	867	+208	9	6	+3				17,983	16,117	+1,866	+884 +567
〃以外	2,386	2,066	+320	522	481	+41	82	100	▲18				2,990	2,647	+343	+133 +70
その他	4,824	4,067	+757	588	490	+98	158	151	+7				5,570	4,708	+862	+244 +363
総合計	39,004	34,757	+4,246	2,953	2,660	+292	795	838	▲43	86	85	+1	42,837	38,341	+4,496	+1,602 +1,034
内、為替換算影響			+1,430				+134			+38						+1,602

注. 当期…2024年4～12月期、前期…2023年4～12月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

所在地セグメント別業績 単位：億円

	'24/4-12						'24/10-12					
	売上収益			営業利益			売上収益			営業利益		
	前年比			前年比	利益率		前年比			前年比	利益率	
日本	21,631	+6%		2,238	+6%	10.3%	7,277	+4%		669	▲20%	9.2%
欧州	5,958	▲11%		83	▲52%	1.4%	1,739	▲24%		0	▲97%	0.0%
アジア	24,013	+13%		2,263	+19%	9.4%	8,249	+17%		728	+15%	8.8%
その他	3,382	+15%		85	▲11%	2.5%	1,119	+17%		25	+14%	2.2%
セグメント間 消去	▲12,147	—		128	—	—	▲4,096	—		25	—	—
連結計	42,837	+12%		4,797	+29%	11.2%	14,287	+12%		1,448	+9%	10.1%



		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当第3四半期	前年同期※4	増減	当第3四半期	前年同期	増減
連結業績	売上収益	10,627	9,823	+ 804	19,447	17,092	+ 2,355
	営業利益※2 （利益率）	1,116 (10.5%)	935 (9.5%)	+ 181	2,042 (10.5%)	1,626 (9.5%)	+ 416
	税引前利益 （利益率）	1,470 (13.8%)	1,232 (12.5%)	+ 239	2,691 (13.8%)	2,143 (12.5%)	+ 547
	税引後利益 （利益率）	1,059 (10.0%)	954 (9.7%)	+ 105	1,938 (10.0%)	1,659 (9.7%)	+ 279
	為替レート	1.83円	1.74円	+ 0.09円			
卸販売	国内販売※3	1,382千台	1,347千台	+ 35千台			
	輸出※3	247千台	204千台	+ 43千台			
	合計	1,630千台	1,551千台	+ 78千台			

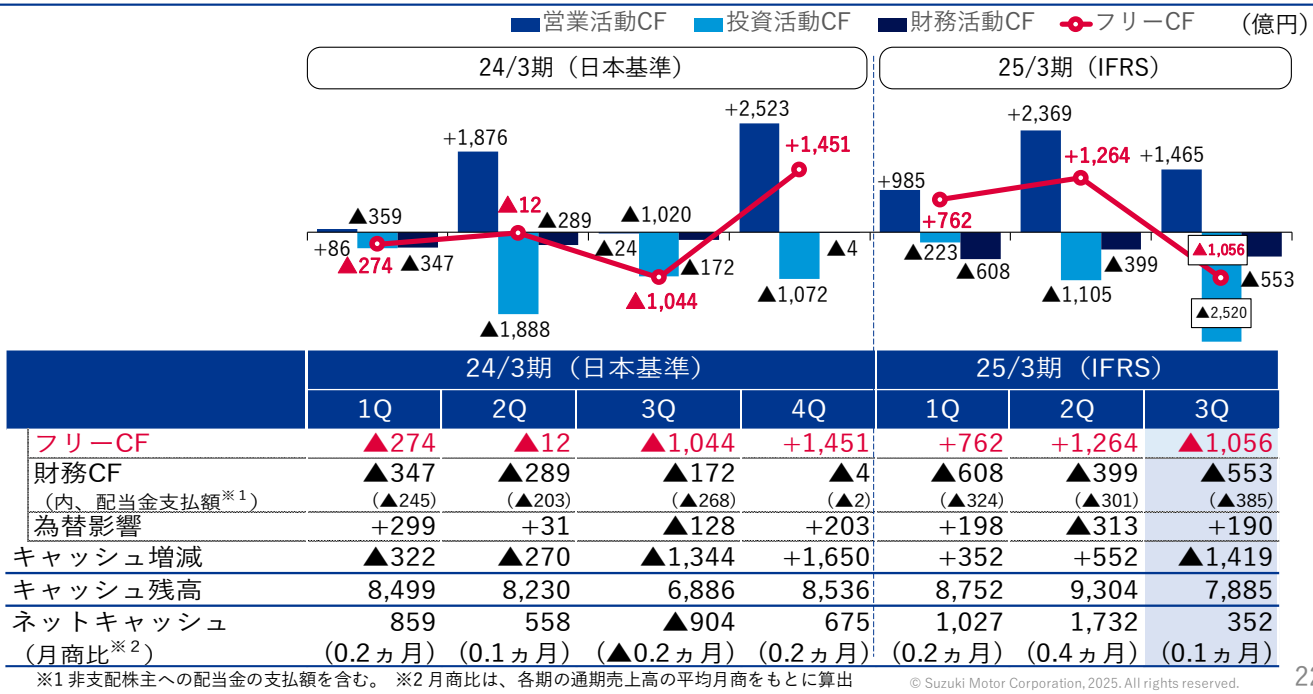
※1 ルピー建は、1月29日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2 営業利益は次式により算出 営業利益 = Sales of product + Other operating revenues - Total Expenses + Finance costs

※3 国内販売および輸出はOEMを含む

※4 前年同期の業績値は、当期との比較のため、前期期初よりSMGを連結した前提で再計算した数値

注. マルチ・スズキ・インディア社はIndAS（インド版IFRS）に基づき会計処理をしており、本数値はあくまでも参考値



	当期 ('24/4-12)	前年同期 ('23/4-12)	増 減
設備投資	2,473億円	2,072億円	+ 402億円
当社単独	635億円	439億円	+ 197億円
子会社	1,838億円	1,633億円	+ 205億円
(内、インド)	(1,394億円)	(1,221億円)	(+173億円)
減価償却費	1,439億円	1,322億円	+ 117億円
研究開発費	1,802億円	1,570億円	+ 232億円

※ インド：マルチ・スズキ社（グジャラートを含む）、SMIPL社、TDSG社、SRDI社、Sデジタル、NBV 6社の合計
※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含まない
※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

	当第3四半期末 ('24/12末)	前年同期末		前期末	
		('23/12末)	増 減	('24/3末)	増 減
有利子負債残高	7,532億円	7,789億円	▲256億円	7,859億円	▲327億円
連結子会社数	120社	117社	+3社	118社	+2社
持分法適用関連会社数	33社	32社	+1社	32社	+1社
従業員数	74,212人	72,341人	+1,871人	72,372人	+1,840人

※ リース負債は上記の実績に含まない

© Suzuki Motor Corporation, 2025. All rights reserved.

	当期 ('24/4-12)	前年同期 ('23/4-12)	前年同期比 増減		営業利益 為替影響	
					感応度 ^{※2}	影響額
インドルピー	1.83円	1.74円	+ 0.09円	+5.2%	+ 33億円	+ 173億円
ユーロ	165円	155円	+ 10円	+6.2%	+ 19億円	+ 115億円
米ドル	153円	143円	+ 9円	+6.5%	+ 11億円	+ 72億円
南アフリカランド	8.41円	7.67円	+ 0.74円	+9.6%	+ 5億円	+ 53億円
パキスタンルピー	0.55円	0.50円	+ 0.05円	+10.0%	+ 3億円	+ 33億円
オーストラリアドル	101円	94円	+ 7円	+6.9%	+ 4億円	+ 31億円
ポンド	195円	180円	+ 16円	+8.9%	+ 3億円	+ 23億円
メキシコペソ	8.19円	8.23円	▲0.04円	▲0.5%	+ 7億円	▲3億円
その他 ^{※1}	—	—	—	—	+ 8億円	+ 40億円
営業利益為替影響額 合計					+ 94億円	+ 537億円

※1 その他…影響額+40億円のうち、ポーランドズロチ+21億円、インドネシアルピア+5億円、ニュージーランドドル+5億円 ほか
※2 感応度…各通貨のレートが前年同期のレートから1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

通期業績予想 | 為替レートと為替影響額



	通期予想	通期予想		前期実績	前期実績比 増減		営業利益 為替影響	
		今回 1-3月前提	前回 通期予想				感応度 ※1	影響額
インドルピー	1.81円	1.75円	1.76円	1.76円	+ 0.05円	+2.8%	+47億円	+134億円
ユーロ	162円	155円	160円	157円	+ 6円	+3.6%	+24億円	+88億円
米ドル	152円	150円	146円	145円	+ 7円	+5.1%	+14億円	+73億円
南アフリカランド	8.29円	7.97円	8.09円	7.72円	+ 0.57円	+7.4%	+6億円	+48億円
パキスタンルピー	0.55円	0.54円	0.53円	0.51円	+ 0.04円	+7.8%	+4億円	+28億円
オーストラリアドル	99円	93円	98円	95円	+ 4円	+4.0%	+5億円	+20億円
ポンド	193円	185円	189円	182円	+11円	+6.1%	+3億円	+20億円
ポーランドズロチ	38円	36円	38円	35円	+ 3円	+7.3%	+3億円	+19億円
メキシコペソ	7.97円	7.31円	7.92円	8.35円	▲0.38円	▲4.6%	+9億円	▲40億円
営業利益為替影響額 合計							+124億円	+350億円

※1 感応度…各通貨のレートが前期実績から1% 円安方向に動いた際の営業利益影響額

(億円)	通期予想	前期実績	増減
設備投資	4,000	3,215	+ 785
減価償却費	2,000	1,769	+ 231
研究開発費	2,600	2,320	+ 280

※ 設備投資の前期実績はIFRS未集計のため日本基準の数値を記載
※ リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・予想に含まない
※ 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載

項目	日本基準	IFRS	内容
有形固定資産の償却方法	定率償却	定額償却	移行日時点に保有する資産について、取得時まで遡って変更を遡及適用
研究開発費、ソフトウェア取得費の資産化	発生時に費用計上	資産計上後に償却	機種開発分やソフトウェア取得費が対象
一部の金融商品の評価差額	売却時に一括で損益計上	四半期ごとに損益計上	マルチスズキ保有の投資信託の評価差額



GIXXER SF 250



e-ACCESS



ACCESS



e VITARA

2025年3月期 第3四半期決算説明会

2025年2月6日
スズキ株式会社

(参考)

1月17日から22日までインドのニューデリーで開催された
「Bharat Mobility Global Expo 2025」において発表したモデル

二輪

- e-ACCESS
- ACCESS
- GIXXER SF 250

四輪

e VITARA



将来予想に関する注意事項

- このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動などが含まれます。